平成２８年度

第１回　熊本市公民館運営審議会

- 議事録 -

ＨＰ公開用

日　時：平成２９年2月１４日（火）
１４時～１６時
場　所：熊本市城南公民館
学習室１・２

【出席者】

■ 公民館運営審議会委員

河村　洋子　　委員
山西　裕美　　委員
山城　千秋　　委員
中尾　史子　　委員
加藤　貴司　　委員
戸野口　庄子　委員
横田　友子　　委員
堀江　美穂　　委員
稲田　憲生　　委員
山口　温代　　委員
山田　裕一　　委員

以上１１人

《欠席者》

溜渕　孝二　　委員
薬師寺　孝　　委員
山田　はる美　委員
竹下　繭子　　委員

以上４人

■ 事務局

井上 市民局市民生活部長
松井 首席審議員兼生涯学習課長

（公民館関係）

- 中央区中央公民館　廣瀬館長
- 〃　五福公民館　進野館長
- 〃　大江公民館　岡崎館長
- 東区　託麻公民館　北里館長
- 〃　秋津公民館　村田館長
- 〃　東部公民館　山下館長
- 西区　西部公民館　澤見館長
- 〃　河内公民館　北野館長
- 〃　花園公民館　田中館長
- 南区　富合公民館　坂口館長
- 〃　飽田公民館　馬原館長
- 〃　天明公民館　鶴田館長
- 〃　幸田公民館　髙本館長
- 〃　城南公民館　高濱館長
- 〃　南部公民館　古賀館長
- 北区　植木公民館　古田館長
- 〃　北部公民館　岩崎館長
- 〃　清水公民館　西田館長
- 〃　龍田公民館　早崎館長

（事務局）

- 川口社会教育主事（生涯学習課）
- 松本主幹兼主査　（　〃　）
- 西主幹兼主査　（　〃　）
- 佐原主任主事　（　〃　）
- 大森主任主事　（　〃　）

以上２６人

【会議資料】

・平成 28 年度　第 1 回公民館運営審議会　会議資料
・平成 28 年度　主催講座の取り組み　報告集
・参考資料（関係法令）

発言者	発言要旨
	【開会】 **（火の君文化ホール被災状況視察）**
	【委嘱状交付】※改選委員のみ紹介
	【資料確認】
事務局	**【事務局あいさつ】**
	【議事（1)】平成 27 年度 事業報告について
事務局	**（１）平成２７年度の事業概要と重点事業の実施状況について**
委員	地震後の避難所対応及びその後の講座再開における公民館職員の尽力に感謝申し上げる。また、今後、地震後の避難所対応の状況（避難者数・運営状況など）を整理していただき、付録というかたちでもよいので、報告していただきたい。
事務局	各公民館の避難所の対応状況等、きちんとまとめて次回の公運審で報告させていただきたい。
委員	市民企画講座数が H26 年度と比較し、半分まで減少しているが、この理由を教えていただきたい。また、逆に子どもチャレンジ公民館事業においては、プランナー数が大きき増加している。その要因があれば教えていただきたい。
事務局	市民企画講座数については、H27 年度の 16 講座のうち、2 件は講演会である。そのため実質の講座数は 14 講座となる。市民企画として応募していただいてる数が減少してきているのが現状である。継続して応募するグループはある。来年度も引き続き支援していきたいと考えている。 子どもチャレンジ公民館については、実施状況の内訳表にもあるとおり、北部公民館実施分のプランナー数が突出して多いことが、主な要因である。また、館によっては、低学年もプランナーとして参加している場合もあるため、増加していることになっている。
委員	全体的に参加人数、利用者数が減っているように見受けられるが、民間企業で実施している講座が増加したとか、自主講座のいくつかで解散があったとか、何か要因があるのか。特に H28 年度は、地震の影響でさらに減少することが予想されるので、今後、どのように対応していけばよいか考えていただきたい。
	【議事（2)】平成 28 年度重点事業の実施状況について
事務局	（２）平成 28 年度重点事業の実施状況について
事務局	・重点事業項目（１）主催講座の充実
事務局	・重点事業項目（２）人権課題
事務局	・重点事業項目（３）家庭教育支援の充実
委員	家庭教育学級の昨今の充実ぶりに謝意。シングルマザーなど多様な家庭があるなか、地域と関係の深い公民館が家庭教育学級運営を支えていることが大変重要である。今後は、それらの多様な家庭の子ども達と親を家庭教育学級にいかに取り込んでいくかが課題。

委員	私の地元である花園公民館のいきいきサロンにおいて、福祉関係機関と公民館がうまく連携していただき、スムーズに運営が出来ている。感謝を申し上げる。地域の方たちと連携をしながら講座の企画などを行うと、さらに参加者等が増えるのではないかと考える。
委員	P17、P22 の「広報の工夫」の中に、もう少し「スピード感」を持ってほしい。どうしても、先に案内があった講座に申し込んでしまう傾向があると聞いた。広報のタイミングも大事になると思う。
	【議事（3)】平成 29 年度事業計画概要（案）
事務局	（3）平成 29 年度事業計画概要（案）について
委員	障がい者が公民館を利用しやすいように、いろいろとご尽力いだたいていることに感謝申し上げる。今後も社会教育主事の方の力が必要となるのでよろしくお願いしたい。H29 年度は、障がい者だけでなく、多様な人を受け入れられる公民館であってほしい。「人権を意識した講座の実施」というのではなく、「『障がいや多様な人を意識した』講座の実施」という意識で実施してほしい。また、来年度の公募委員の改選においても、多様な意見が聴けるように配慮いただきたい。
委員	H28 年度の事業報告の中で、「親子で参加できるように開催時間等を工夫した」とあった。今後も引き続き、働いている親も参加できるように更なる工夫をして講座を充実をしてほしい。また、小中学校との連携、つまり「地域のきずな」が重要になる。
委員	今回の震災を受けて、公民館でかかえているボランティアに、実際の災害時にどのような活動をしていただくかを、きちんと整理しておく必要があるのではないか。課題として入れておいてほしい。
委員	公民館とは「おでかけ公民館」を利用することで関わりあり。また家庭教育学級を実施している幼稚園あり。今後は、小中学校だけでなく、幼稚園とも連携していければと考えている。
委員	親の教育をしていただきたい。挨拶をしない親が多い。そのため、公民館の講座の中に、子どもを持つ親のための講座をしていただきたい。
委員	親の教育力が落ちているのではなく、発揮できていない環境になっているのかと考えるので、「発揮できる」環境になるような講座を開催していただきたい。
委員	H29 年度の公民館においては、委員も言われるように、「人権」というのではなく、「多様性」を意識した公民館運営を実施していただきたい。公民館の役割として、地域力を活かせる土台をつくるため、また、地域力を高めあえるような、誰もが集える場所としての公民館であってほしい。
事務局	ご意見いただいた内容を反映させて H29 年度の事業を実施していきたい。また、熊本地震の経験を活かした公民館事業の運営をしていきたいと考えている。修正した事業計画案については、次回の 7 月の審議会で報告させていただく。

	【報告 1】熊本地震による公民館の被害状況と今後の復旧予定について
事務局	１　熊本地震による公民館の被害状況と今後の復旧予定について （会議資料を基に計画内容を説明） 復旧の予定としては、ほぼ来年度平成 29 年度に完了する予定だが、工事の入札の不調等によっては変動する可能性もあり。
	【報告 2】白川公園内複合施設整備事業（中央公民館建替）について
事務局	２　白川公園内複合施設整備事業（中央公民館建替）について （会議資料を基に計画内容を説明） 中央公民館と同じく被災した中央老人福祉センターとの合築で計画を進めている。そのため、H28 年 8 月に、両施設利用者にアンケート調査を実施。また、ワークショップも 1 月に実施し、さまざまな意見を取り入れて計画策定しているところである。 さらには、（この整備事業に係る審議会の設置はないため）障がい者団体からの意見も聴き、多様な方へ対応できるように検討している。
委員	中央公民館建替に係る審議会というのではなく、この公民館運営審議会の委員に、多様な人材を登用してほしい。障がい者など、その人の意見が聴けた方が、多様性に対応できるはず。
事務局	公運審の委員に関しては、条例で規定されているため、多様な人材をということであれば、公募からの選任となる。今後検討していきたい。
委員	今回の震災において、拠点避難所となった多くの公立公民館の実際の対応内容をきちんと整理してほしい。実際避難していない人たちにとっては公民館の状況は知りえないこと。自治会など地域のネットワークを活かし、地域の防災力を高めるためにも、実際に経験したことをきちんと振り返り、整理し、共有することが重要であると思う。公民館が担う役割というのも、再度確認していきたいと思う。
事務局	公民館の地震後の対応については、次回の公民館運営審議会において、きちんとご報告したいと思う。 また、補足として 昨年度の第３回の公民館運営審議会においてご報告していた「公民館のあり方に関する検討」については、本年度熊本地震の対応のため、検討実施に至っていない。来年度『まちづくりセンター』が動き出すこともあるため、このセンターの動向をみながら、今後の方向性を考えていきたい。